

この添付文書はご使用前に必ずお読みください。 また、必要時に読めるよう保管しておいてください。

漢方製剤 第2類医薬品

花扇黄解丸 (はなおうぎ おうげがん)

定められた用法・用量をお守りください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人。(体力の衰えている人、体力の弱い人)
 - (4) 高齢者。
 - (5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 服用後、まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる
* 腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満感等が繰り返しあらわれる

*記載要領変更に伴う改訂

3. 1か月位(鼻出血、二日酔いに服用する場合には5~6回)服用しても症状がよくなる場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

成分および分量

本剤は黒褐色の丸剤で、1日量 60 丸(約 6 g)中に次の成分を含有しています。
オウレン 1g、オウゴン 1.5g、オウバク 1g、サンシシ 1g
添加物：トウモロコシデンプン、ハチミツ、セラック

効能・効果

体力中等度以上で、のぼせがみで顔色赤く、いらいらして落ち着かない傾向のあるものの次の諸症：鼻出血、不眠症、神経症、胃炎、二日酔い、血の道症、めまい、動悸、更年期障害、湿疹・皮膚炎、皮膚のかゆみ、口内炎
(血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことを言います)

用法・用量

大人(15歳以上)は1回 20 丸(約 2 g)を1日3回食前または食間に服用します。
(食間とは・・・食後2~3時間を指します。)

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 開封後は、しっかりと封をして保管してください。

<お問合わせ先> 小西製薬株式会社 お客様相談窓口
〒579-8012 大阪府東大阪市上石切町 2-33-11
電話番号 072-981-2429
受付時間 月～金曜日 9:00～17:00(祝日、年末年始を除く)

製造販売元 **小西製薬株式会社**
〒579-8012 大阪府東大阪市上石切3町 2-33-11

花扇黄解丸：改訂 2013 年 8 月 (AS0904)